

EFNS

Emergency FM Network Suzuka

防災エフエムネットワーク鈴鹿

災害時の情報収集 体制構築について

2022年1月19日



Suzuka Voice FM 78.3_{MHz}

情報源の課題 《 熊本地震の例 》

大災害時には「デマ」も多い

例 「動物園からライオンが逃げた！」

匿名性が高い = いたずら目的にも

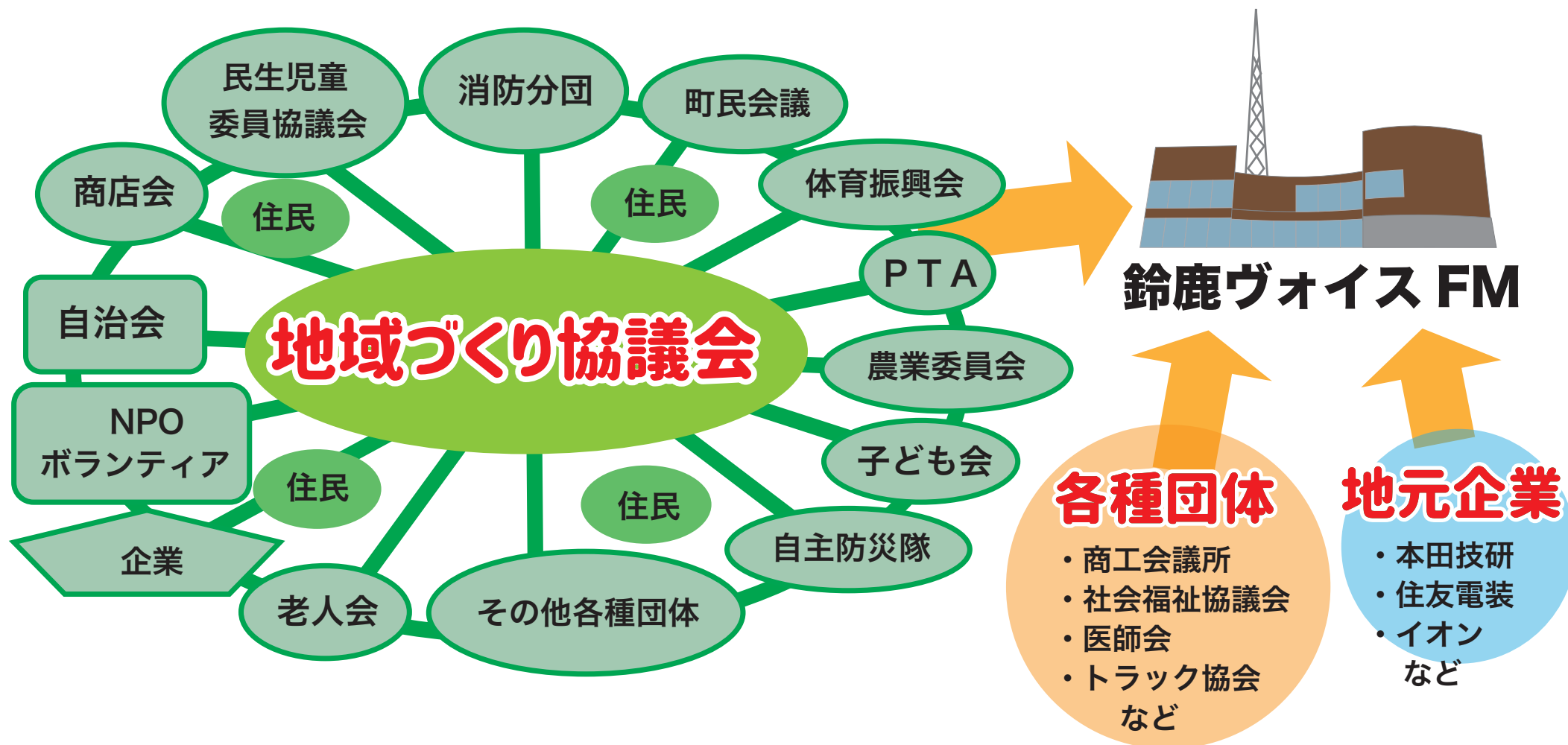


熊本地震の例では地元のラジオ局へ
多くの情報が寄せられたが、
「すべて読めなかった」

⇒ 事実かどうかの確認が取れない

今回の取り組み

地元の様々な団体の方にあらかじめ登録して頂くことで、
ラジオで**信憑性のある情報を放送できる体制づくり**



情報提供者のご登録のお願い

各自治会、各委員会、各団体毎に数名～10名程度、
情報提供者としてご登録をお願いします。

情報提供者ご登録

地区	〇〇地区地域づくり協議会		
区分	自治会	団体名称	〇〇町

記載例を別紙につけております。
またご不明な点があれば
お気軽にご連絡ください

	氏名	電話	アドレス	住所(町名から)	備考
代表	鈴鹿 太郎	059-300-0000	suzuka@docomo.ne.jp	〇〇町0番地	自治会長
副代表	三重 花子	059-300-0000	hanako@docomo.ne.jp	〇〇町1番地 コーポ三重203	副会長
	神戸 次郎	090-0000-0000	kanbe@au.jp	〇〇町2-3	監事
1	白子 三郎	059-300-0000	shiroko@gmail.com	〇〇町3-4-5	



登録することで「情報の信頼性」

EFNS
Emergency FM Network Suzuka

自治会をはじめとする諸団体の方々に、あらかじめ登録いただき、登録カードを発行します。



鈴鹿ヴォイス FM78.3MHz への連絡先

通常時

電話 059-378-6267
FAX 059-378-6268
メール bousai@suzuka.fm

災害時優先

電話 059-000-0000
携帯 090-0000-0000

防災機能付きスマホアプリ

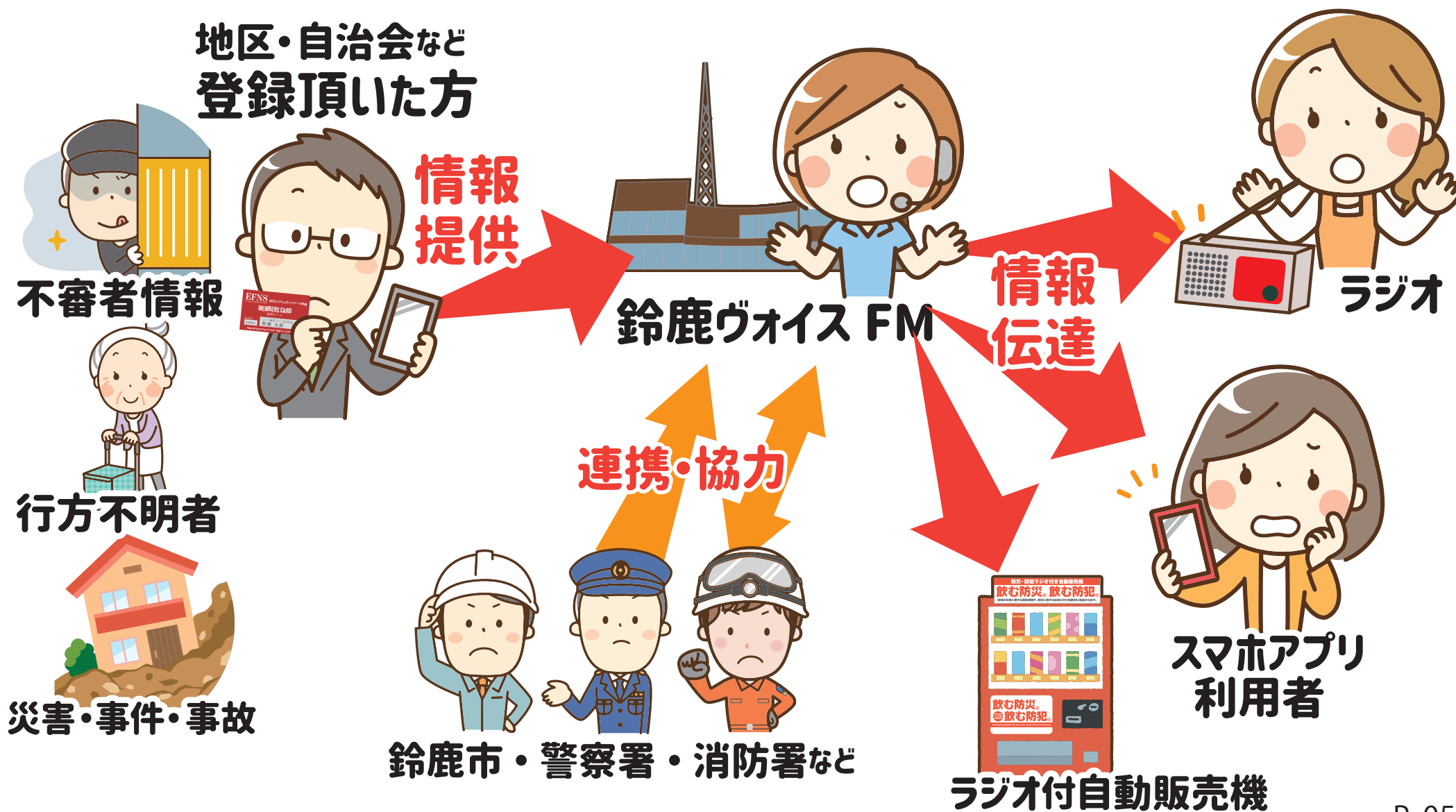
Radimo
レディモ

市やラジオ局からのお知らせ
通知機能つき無料スマホアプリ
このアプリでも局にメール連絡可能



このカードには、当ラジオ局への連絡先が記入されています。
災害時にも優先的に繋がる「災害時優先電話」の番号も記載。

緊急時の伝達



様々な情報発信にも

イベント情報の告知にも
活用いただけます！



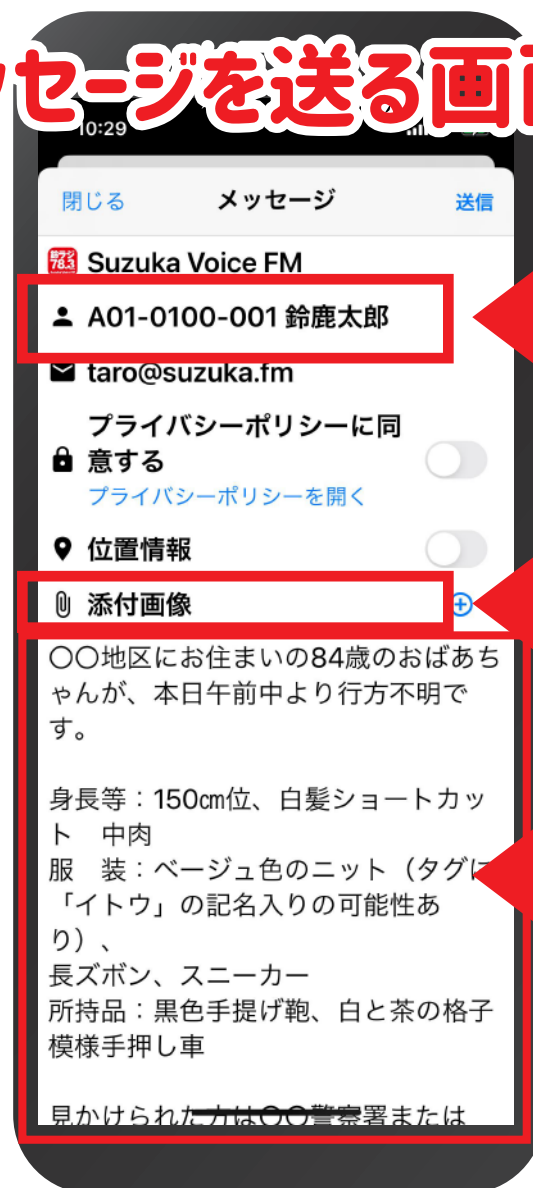
写真も掲載可能



Radimo で簡単にメッセージ送信



メッセージを送る画面



会員証の
ID と名前

画像も送信
できます！

本文記入

Radimo で市民に情報伝達

EFNS
Emergency FM Network Suzuka

**Radimo の入った
スマホに通知が
届きます!**



Radimo

〇〇地区にお住まいの
84歳女性が行方不明

**Radimo にて
詳細を確認**

〇〇地区にお住まいの 84 歳女性
が、本日午前中から行方が分から
なくなっております。

身長等：150 cm位、白髪ショート
カット 中肉
服 装：ベージュ色のニット（タ
グに「イトウ」の記名入りの可能
性あり）、長ズボン、スニーカー
所持品：黒色手提げ鞆、白と茶の
格子模様手押し車

写真はコチラ

[http://suzuka-voice.fm/efns/
/20211001/](http://suzuka-voice.fm/efns/20211001/)

**画像をアップした
鈴鹿ヴォイスの
ホームページへ
ジャンプします。**

〇〇地区にお住まいの84歳女性が、本日午前中から
行方が分からなくなっております。

身長等：150cm位、白髪ショートカット 中肉
服 装：ベージュ色のニット（タグに「イトウ」の記
名入りの可能性あり）、長ズボン、スニーカー
所持品：黒色手提げ鞆、白と茶の格子模様手押し車

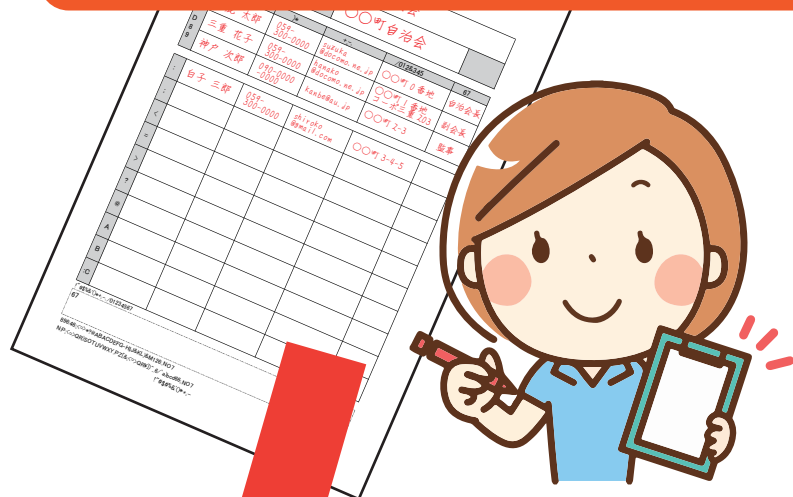
見かけられた方は〇〇警察署または〇〇自治会にご連
絡ください。

〇〇自治会：電話000-0000

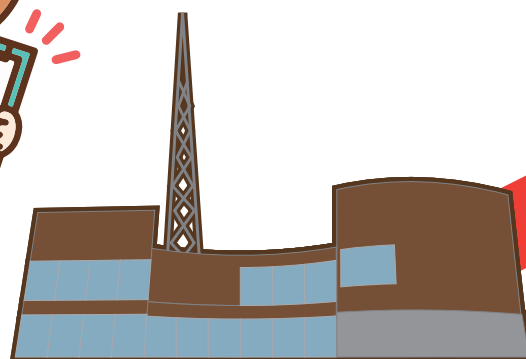


① 情報提供者として
ご登録ください

② スマホアプリを
インストールしてください



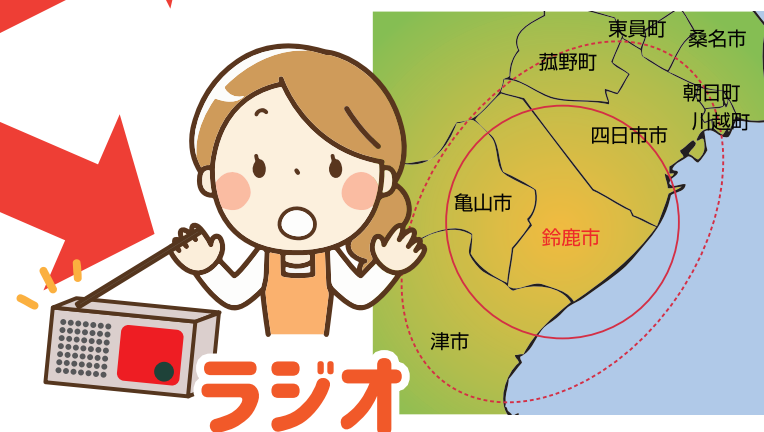
カードを発行



鈴鹿ヴォイスFM



スマホアプリ



ラジオ

新聞にも掲載されました

災害情報 正確、迅速に

鈴鹿のFM局

提供者の事前登録制運用

鈴鹿市内を放送エリアとするコミュニティFM局「鈴鹿ヴォイスFM」は、大規模災害時に寄せられる街中の有用な情報を届けるため、情報提供者の事前登録制度を設け、運用を始めた。デマに振り回されることがないよう市民目線の災害情報にも精度を担保し、正確で迅速な放送につなげる。一日は防災の日。

(片山健生)

デマに振り回されるのを避ける

ラジオは災害に強いメディアとされ、放送域が限定されるコミュニティFMなら地元行政が出す身近な災害情報を素早く周知することができると。一方、被災者にとっては近隣の食料品店やガソリンスタンドの営業状況といった民間情報も重要。ただ、市民から情報提供を受けても、デマが紛れ込んでいる可能性が排除できず、放送できるかどうかの判断が難しい。二〇一六年の熊本地震では、地元のコミュニティFM局は、一切紹介できなかったという。

これを教訓に、鈴鹿ヴォイスFMは情報提供者をあらかじめ登録し、災害時は原則的に当人から提供された内容に限って放送する制度を設けた。登録者は、新設した「防災FMネットワーク鈴鹿」のメンバーと位置付け、それぞれ会員IDを付与。防災機能付きスマホアプリ「レディモ」を介して送る災害情報は会員IDが必要のため、受け手のラジオ局が容易に本人確認できる。

鈴鹿ヴォイスFMは七月から、市内二十八地区の地域づくり協議会や、地元大手企業といった団体単位で順次、声を掛け、代表者や役職者らの会員登録を呼び掛けている。登録者の目標は三千人。

運営会社の加藤正彦社長は「きめ細かくスピーディーに災害情報を流す仕組みを作った。市民の協力を得て育てていきたい」と話している。



情報提供者の登録カード(見本)を手にする加藤社長。鈴鹿市住吉町で